

# 半田市創造・連携・実践センター「コココリン」



外観

半田市中心市街地エリアに誕生した、まちづくりの多機能施設。名鉄「知多半田駅」から徒歩約3分。ガラス張りのメインとなる棟は、内部に自然光を取り入れつつ、夜間も照明をつけておき、外を通る人を優しく照らす。



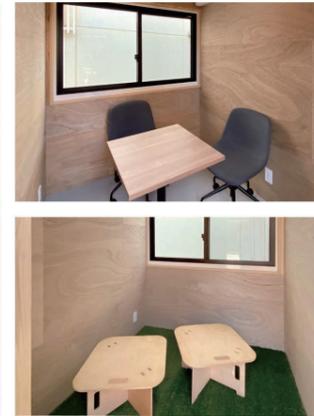
内観

メインの建物は、コワーキングスペースのほか、知多半島エリアのクリエイターが制作したオリジナル作品を展示・販売できるスペース「The LOCAL (ザローカルチタ)」やカフェ「pivot (ピボット)」で構成している。

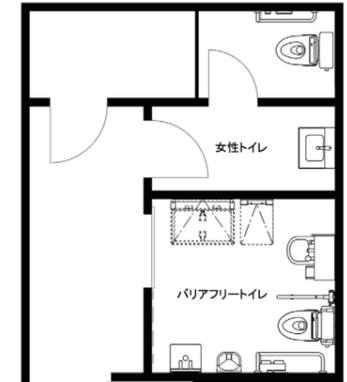


レンタルオフィス

さまざまなタイプの建物が点在。内部の部屋は主に、新たに起業・創業を始める方を対象とするレンタルオフィスとなっており、物販スペースとして使用することも可能となっている。



## トイレ図面



## 水まわりの特長

### 建物の特徴

半田市創造・連携・実践センター「コココリン」は、半田市の玄関口となる中心市街地エリア、名鉄「知多半田駅」より徒歩3分に位置するまちづくりのための多機能拠点である。市民、事業者、学生などの交流、連携をサポートし、ネットワークの形成、起業・創業を促進し、市の新たな価値を創造する。施設は、メインの交流スペースを中心に建物が点在し、新たに起業・創業を始める方を対象とした、コワーキングスペースやレンタルオフィスのほか、知多半島エリアのクリエイターが制作したオリジナル作品を展示・販売できるスペースを設け、作品を通して知多の魅力を発信する場を提供。セミナーやイベントも開催され、多様なつながりを育む、まちのエネルギー源泉地となることを目指している。

### トイレの特長

トイレは、「コココリン」に点在する建物の中に位置し、営業時間内は、施設利用者だけでなく、だれでも使用できるように配慮している。トイレは、女性トイレとだれでも使用できるバリアフリートイレを設置。また、限られた空間で、さまざまな利用者が快適に使用できるトイレをつくるため、地域の住民とワークショップを通して仕様を検討。女性トイレには、L型手すりやデザイン性や清掃性、衛生性に優れたウォシュレットアプリコットPを採用。バリアフリートイレには、車いす使用者のほか、オストメイトや乳幼児連れに配慮した設備を完備している。さらに、防犯・緊急時対応として、トイレ内に呼出ボタンを設置。押しと外の警報灯が点灯して外部に報知。営業時間外は、施錠できるようになっている。

### 建築概要

名称	半田市創造・連携・実践センター「コココリン」
所在地	愛知県半田市南末広町120-4
施主	半田市
設計	半田市
施工	建築 株式会社沢田工務店 設備 大日設備工事株式会社

竣工年月	2024年10月
敷地面積	377.0㎡
建築面積	187.99㎡
延床面積	187.99㎡
構造・階数	鉄骨造・地上1階

### おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・タンク式:CS597BMS+SH596BAYR

車いす対応便器:CS20AB+SH30BA

ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリコモコン):TCF5831AU

ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリコモコン):TCF5841P

棚付二連紙巻器:YH702/壁掛洗面器:LS722C

壁掛ハイバック洗面器:LSA125AA/台付自動水栓:TLE28002J

コンパクトオストメイトバック:UAS81LDB2NW/ペーパーシート:YKA25S

ペーパーチェア:YKA15S/フィッティングボード:YKA41R

パブリック手すり:T112CL10, T112CL11, T112HK8R



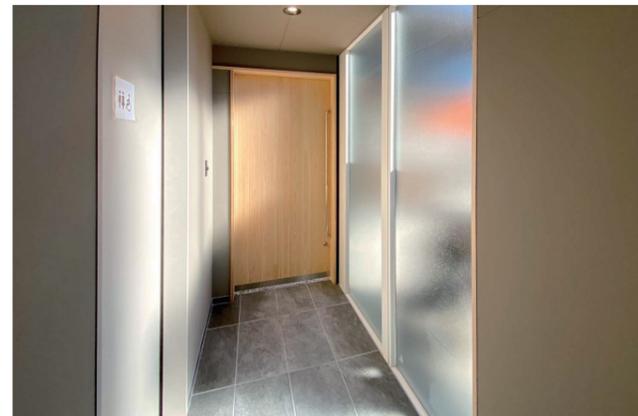
トイレ外観

トイレは、点在する建物の中に位置しており、施設の営業時間中は施設利用者だけでなく、だれでも利用することができます。トイレ棟には、女性トイレとだれでも使用できるバリアフリートイレを設置している。



トイレ入口

入口は木製の引戸となっており、営業時間外は施錠できるようになっている。また、防犯・緊急時対策として、トイレ内に呼出ボタンを設置。ボタンを押すと外の警報灯が点灯し、外部に知らせることができる。



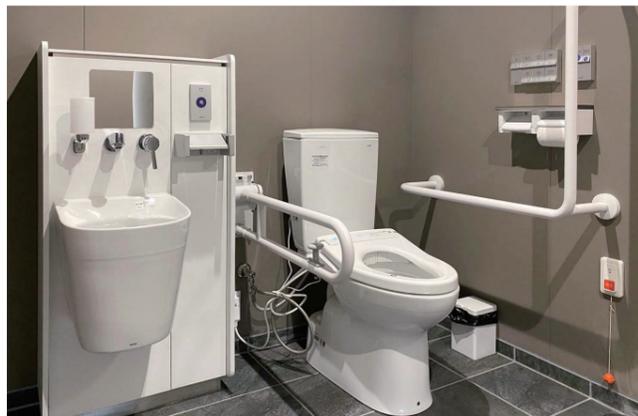
トイレ通路

トイレの通路は、ガラス張りになっており、自然光が入る明るい空間。夜間もすりガラスによって、トイレ内に人がいることが確認できるため、安心して使用できる。



女性トイレ

女性トイレには、さまざまな利用者を想定してL型手すりを設置。さらに、デザイン性や清掃性、衛生性に優れたウォシュレットアプリコットPと、電源工事が不要で発電式のエコリコモコンを採用している。



バリアフリートイレ

バリアフリートイレには、車いす使用者だけでなく、オストメイトにも配慮してコンパクトオストメイトバックを設置。仕様については、さまざまな方が快適に利用できるよう、地域の住民とのワークショップで決定した。



バリアフリートイレ

バリアフリートイレには、さらに乳幼児連れにも配慮し、ペーパーチェアやペーパーシート、フィッティングボードも完備している。